

エアバッグの改善対策届出が行われました!! 対象エアバッグの取外回収をお願いします

平素は、エアバッグ類の適正業務の遂行にご尽力いただきありがとうございます。

さて、今般2017年9月21日付にて以下メーカーの一部車両において、改善対策※届出が行われました。つきましては、以下「2.確認手順」に従い、取外回収をお願いいたします。

※改善対策とは、道路運送車両の保安基準に規定はされていませんが、安全の確保及び環境の保全上看過できない状態であり、その原因が設計又は製作過程にあるときに自動車メーカー等が必要な改善措置を行うことで、リコール届出とは異なります。

1.対象車両

メーカー名	対象車両の範囲	部位	改善対策届出番号
ボルボ	平成 26 年 2 月 14 日～平成 29 年 3 月 14 日の F Hの一部車両	運転席	改500 又は 529

※上記は、平成 28 年 6 月 30 日及び平成 29 年 9 月 21 日の改善対策届出をまとめたものです。

改善対策の詳細内容、対象車台の範囲については、以下の HP にてご確認ください。

< 国 土 交 通 省 H P > <http://www.mlit.go.jp/jidosha/recall.html> (H29/9/21)

<ボルボ・トラック JAPAN H P> <http://www.volvotrucks.jp/ja-jp/news/recall-info/improvement.html> (H29/9/21 掲載)

< 自 再 協 H P > <http://www.jarp.org/> (H29/9/29 掲載予定)

※詳細は各社ホームページをご確認ください。

2.確認手順

【確認①②③】

対象車両の確認

「解体工程 1.1 使用済
自動車/解体自動車の
引取報告」／「車台詳
細情報」画面

オレンジ以外

【作動①②③】

通常通り作業

(車上作動処理可)

オレンジ

【作業①②】

《該当部位》

エアバッグ
取外回収

※改善実施済車両の判断が難しいため、オレンジ表示の対象車両はすべて取外回収をお願い致します。

自動車再資源化協力機構（自再協）

TEL: 03-5405-6150 / E-mail: info@jarp.org

【確認①】対象車両の確認

◆1.1 使用済自動車/解体自動車の引取報告(解体工程)

解体工程 > 使用済自動車/解体自動車引取報告 >
情報管理センターへの報告 (JPRS3100)

メニューに戻る

1. 引取実施事業者(自社) 情報

事業所コード 123456789012 事業者/事業所名 詳細 ○○解体 ●●●営業所

2. 引取対象車台の一覧 ※エアバッグ類処理対象は、必ずいずれかを選択してください

該当車台は10件です

前ページ

次ページ

1 ページ

最新の一覧取得

表示件数 50件

並び替え

引渡報告日(昇順)

引渡報告日	引渡元事業者/事業所名	車台番号	型式	車名	※参考 加/類 装備	エアバッグ類 処理対象選択	引取報告 対象選択
						自社 処理	次業者 処理
2010/11/29	○○回収事業所 ××営業所	123456789012	ABCDEFGHIJ	通常車台	有	☐	☐
2010/11/29	○○回収事業所 ××営業所	123456789012	ABCDEFGHIJ	一時停止車台	有	☐	☐
2010/11/29	○○回収事業所 ××営業所	123456789012	ABCDEFGHIJ	特定車台	有	☐	☐

改善対策対象車両は背景色が「オレンジ」で表示されます。

解体工程「1.1 使用済自動車/解体自動車の引取報告」にて、背景色が「オレンジ」で表示されている車台が、改善対策対象エアバッグ類装備車両となります。

【確認②】対象部位の確認

◆車台詳細情報画面(解体工程)

1) 改善対策対象部位は背景色が「オレンジ」で表示されます

1. 車台情報		2. エアバッグ類 詳細情報	
◆車台基本情報		◆エアバッグ類 詳細情報	
車台基本番号	1001	運転席	1
◆リサイクル料金保証の有無	有	助手席	1
フロント座席	有	サイド	1
エアバッグ類保証	有	カーテン	1
◆車台装備情報		プリテン	1
フロント座席クラス	商用車等	その他1	1
脱フロンエアコン	有	その他2	1
燃費物区分	01: 燃費物はリサイクル料金に含まれる	その他3	1
◆メーカーからの お知らせ		その他4	1
		その他5	1
		その他6	1
		その他7	1
		その他8	1
		その他9	1
		その他10	1
		◆エアバッグ類 詳細情報	
		一括作動システムへの対応	
		一括作動システム対応車両です	
		機械式の部位	
		運転席とシートベルトプリテンショナーに機械式を装備しています	
		その他1	
		その他2	
		◆車台実車装備情報	
		フロント座席	
		フロント座席	
		エアバッグ類装備	
		有	
		関連する エアバッグ類装備部位	
		助手席	

オレンジ表示されている車台の「詳細」から車台詳細情報を開き、改善対策対象部位をご確認ください。

【確認③】処理方法の選択の確認

◆1.10 処理方法選択画面(解体工程)

2. 処理対象車台の一覧		3. 処理方法選択	
該当車台は162件です		※エアバッグ類の一部を「取外回収」し一部を「車上作動処理」	
引取報告日	車台番号	型式	
2016/03/29	X000-X00000X	X-X000X	シャブイ
2016/03/29	X000-X00000X	X-X000X	シャブイ
2016/03/29	X000-X00000X	X-X000X	シャブイ
2014/12/23	X000-X00000X	X-X000X	シャブイ
2014/12/22	X000-X00000X	X-X000X	シャブイ
2013/05/16	X000-X00000X	X-X000X	シャブイ

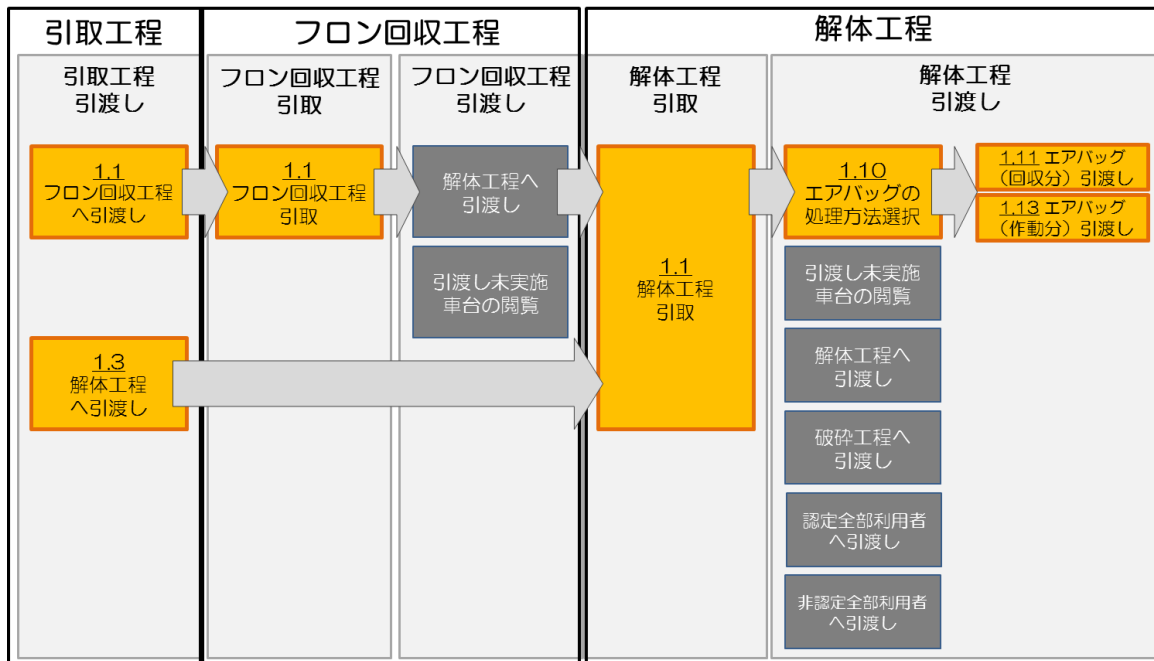
間違いなく処理選択されているか必ずご確認ください。

【車上作動契約がある場合】
改善対策対象部位を取外・それ以外の部位を作動している場合、「取外」「作動」の両方にチェックをして処理選択してください

なお、「1.11 エアバッグ類(取外回収)の引渡報告」「1.13 エアバッグ類(車上作動処理)の引渡報告」でもオレンジ表示が確認できます。

【参考1】オレンジ表示確認画面範囲

解体業者の方で、引取業とフロン類回収業を兼任されている事業所は、引取工程の引渡報告画面、フロン類回収工程の引取報告画面においても、改善対象車台のオレンジ表記がされるようになっていきます。



自動車メーカーが実施する改善対策車両の追加及び改善対策済み車台の削除により、背景色の「オレンジ」表示は点灯・消滅することから、必ず解体工程の引取報告画面をご確認ください。また特別費用支払対象車両は、解体工程でオレンジ表示されている改善対策対象車台となります。

【参考2】引取工程・フロン類回収工程での確認

◆引取工程の使用済自動車の引渡報告画面(解体業者兼任限定)

引取工程【1.1 フロン類回収業者への使用済自動車の引渡報告】【1.3 解体業者への使用済自動車の引渡報告】画面にて改善対策対象エアバッグ類装備車両の背景色が「オレンジ」で表示されます。

4. 引取報告済車台の一覧

該当車台は12件です

引取報告日	車台番号	型式	車名	フロン類 種別	※参考 17kg以上 装備	備考情報	引取報告 対象選択
2013/04/25	SD2AT-501025	U-S22AT	マツダ	HFC	無		☐
2013/04/25	UCF21-004577	E-UCF21	トヨタ	HFC	有		☒
2013/04/27	CTS10-504						☐
2013/04/27	JA4-1027						☐

改善対策対象車両は背景色が「オレンジ」で表示されます。

※自動車メーカーが実施する改善対策車両の追加及び改善対策済み車台の削除により、背景色の「オレンジ」表示は点灯・消滅することから、必ず解体工程の引取報告画面を確認ください。

◆フロン類回収工程(解体業者兼任限定)

フロン類回収工程【1.1 使用済自動車の引取報告】画面にて改善対策対象エアバッグ類装備車両の背景色が「オレンジ」で表示されます。

2. 引取対象車台の一覧

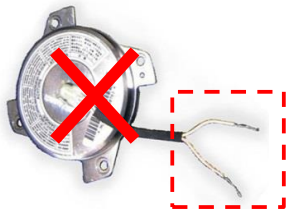
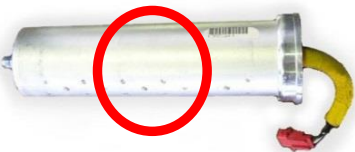
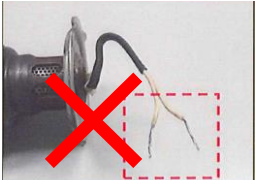
該当車台は7件です

引渡報告日	引渡元事業者/事業所名	車台番号	型式	車名	フロン類 車種	フロン類	※参考 17kg以上 装備	引取報告 対象選択
2013/05/13	自動車リサイクル事業所	X000-X00000X		シャブイ	乗用車等	HFC	有	☐
2013/05/16	自動車リサイクル事業所	X000-X00000X		シャブイ	乗用車等	HFC	有	☐
2013/05/16	自動車リサイクル事業所	X000-X00000X		シャブイ	乗用車等	HFC	有	☐
2014/12/23	自動車リサイクル事業所	X000-X00000X		シャブイ	乗用車等	CFC	有	☒
2016/03/14	自動車リサイクル事業所	X000-X00000X		シャブイ	乗用車等	CFC	有	☒

改善対策対象車両は背景色が「オレンジ」で表示されます。

【作業①】改善対策対象エアバッグの取外回収、分解

改善対策対象のエアバッグを車両から取り外しインフレータの状態まで分解したら、以下の手順に従い指定引取場所に引き渡してください。

	正しい性状	誤った性状	
	・インフレータ状態まで分解 ・ハーネスを5cmほど残して切断した上で、先端の被覆をむき撚り合わせてショート	分解不十分 (付属品がついている)	短絡不良 (ハーネスを撚り合わせてショートしていない)
運転席			
助手席			

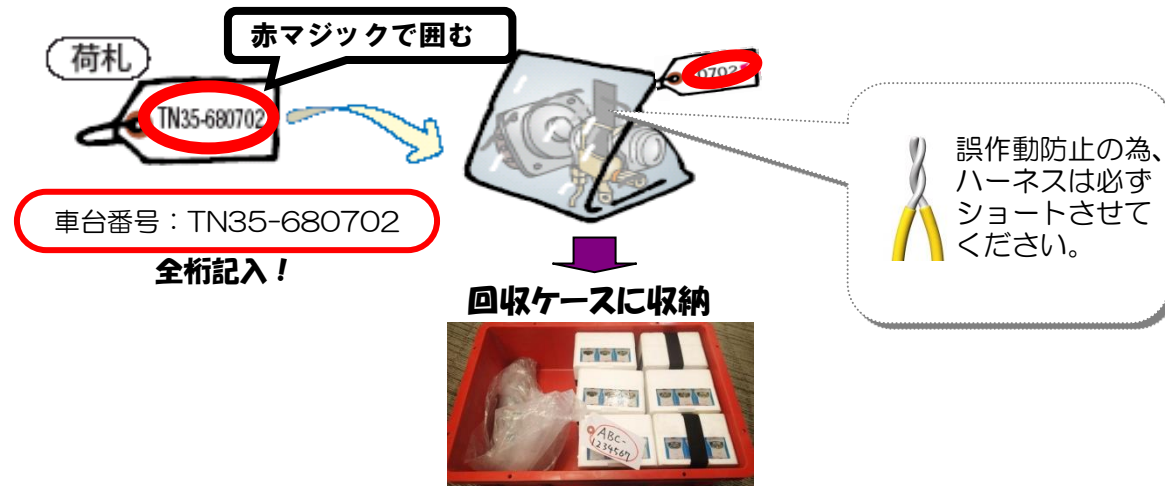
【作業②】梱包

取外し後のインフレータは以下の要領で指定引取場所に引き渡してください。

通常通り、回収袋に収納し、「全桁の車台番号（※）」を書いた荷札を付けてください。

その際、荷札の車台番号を赤マジックで囲んでください。

（※）指定引取場所等での車両特定の為、車台番号の全桁記入をお願いします。



万一、事故等が発生した場合は、現場を保存（写真等による保存でも可能）の上速やかに自動車再資源化協力機構までご連絡ください。

補 足

-- 車上作動処理委託契約事業者の皆さまは、以下の作業もお願いいたします --

作動 1. 改善対策対象外のエアバッグ類を車上作動処理し、実績を記録してください。

- ☞ 改善対策対象のエアバッグを取外した後でも一括作動処理が可能です。
- ☞ 車上作動処理を行う際は、「ガラス等の飛散防止」「通電時の距離確保と遮蔽物の設置」「周囲の安全確保」等、安全対策を確実に実施した上で通電してください。

《安全作業の一例》

① ドアを開め、全体カバーをかけてガラス等の飛散防止

② 通電時の距離(5m以上)を確保するとともに遮蔽物を設置。作業者は遮蔽物に確実に隠れる位置で通電してください。

③ 通電時のヘルメット着用

④ 通電時の周囲への声かけ。車台の周囲に人がいないことを確認してください。



※車上作動処理実施後、出火、異常な煙・臭いがないことをご確認ください

- ☞ また、車上作動処理実施の際、インフレーター等が破断し部品が車外に飛散する事象が稀に発生している為、従来の安全作業に加え、以下の対策実施を推奨します。

① ハンドル位置を**下げ**、運転席のヘッドレストを**最下部まで下げ**、シートを**前方に引き出すとともに前に倒す。**

ハンドルの向きを下げ、シートを前に倒す事で、運転席側のインフレーター等の車外への飛散を抑えることを期待。



② フロントガラスに**毛布**を置き、その上に**カバー**をかける

毛布をかけた上に更にカバーをかける事で、飛散防止効果を期待。



③ **ボンネット**を開ける

ボンネットを開けた状態で通電することで、インフレーター等の車外前方への飛散を防ぐことを期待。(ポップアップボンネット付車台を除く)



- ☞ 車上作動処理実施後、速やかに処理結果を管理台帳に記入してください。
 （備考欄に「改善対策対象部位（例：助手席）は取外回収」と記入）

エアバッグ類 車上作動処理 管理台帳							2010年10月度 1頁		解体業者名: ○○解体△△工場	
① 事務所管理欄(1)			② 作業場管理欄			③ 事務所管理欄(2)			備考	
No.	車台番号	車名	作動処理実施日	車上作動方式 個別 一括	処理個数	確認者	エアバッグ類 移動報告引渡日	解体自動車 引渡先	解体自動車 引渡日	
1	AA1234567890	AAAAAA	10/1	○	3					助手席は取外回収
2										
3										
4										

作動処理した個数を記入

例：助手席を取外回収した旨を記入

作動 2. 自動車リサイクルシステムへの入力

- ☞ 「一部取外回収・一部車上作動処理」で引渡報告します。

①〔解体工程 1.10 エアバッグ類処理方法の選択〕

②〔解体工程 1.11 および 1.12 エアバッグ類(取外回収)の引渡報告〕

回収ケースを引渡した後、『取外回収』で引渡報告します。

1.8	引渡報告	非認定全部利用者への解体自動車の引渡報告
1.9	引渡先確定済車台の一覧	※非認定全部利用者：メーカー
1.10	エアバッグ類処理方法の選択	エアバッグ類処理方法の選択
1.11	引渡報告	エアバッグ類(取外回収)の引渡報告
1.12	引渡先確定済荷姿の一覧	
1.13	引渡報告	エアバッグ類(車上作動処理)の引渡報告

「回収」と「作動」
の両方にチェック
します。

回収	作動
☒	☒
☐	☐
☐	☐
☐	☐

「処理方法の選択」画面で、『回収』と『作動』の両方にチェックをした場合、
 「車上作動処理」での引渡報告は必要ありません。

作動 3. 管理台帳のエアバッグ類引渡報告日を記入

- ☞ 引渡報告が完了したら、管理台帳の
 「エアバッグ類引渡報告日」欄にその日付を記入し保管します。

エアバッグ類 車上作動処理 管理台帳							2010年10月度 1頁		解体業者名: ○○解体△△工場	
① 事務所管理欄(1)			② 作業場管理欄			③ 事務所管理欄(2)			備考	
No.	車台番号	車名	作動処理 実施日	車上作動方式 個別 一括	処理個数	確認者	エアバッグ類 移動報告引渡日	解体自動車 引渡先	解体自動車 引渡日	
1	AA1234567890	AAAAAA	10/1	○	3	環境太郎	11/1		10/3	助手席は取外回収
2										
3										
4										

取外回収で引渡報告
した日を記入

参考

UDトラックス(株) 運転席エアバッグ 改善対策対象車両一覧

Volvo FH 4x2



Volvo FH 6x4



表中の車台番号には改善対策対象外の車両も含まれております。必ず移動報告画面のオレンジ表示をご確認ください。

運転席

車名	型式	通称名	改善対策対象車の車台番号の範囲及び輸入期間	改善対策対象車の台数	備考
ボルボ	QKG-H2TDA1	「FH」	YV2RM00A6EA754175 ～ YV2RM00A0GA791662 平成26年2月14日 ～ 平成28年6月27日	151	
	QKG-H2TEA1		YV2RM20AXEA754269 ～ YV2RM20A0GA791916 平成26年2月14日 ～ 平成28年6月27日	186	
	-H2TDA1-		YV2RM20A4GA783642 平成27年12月16日	1	
	-H2TEA1-		YV2RM00A5FA773494 ～ YV2RM20A9GA786312 平成27年2月3日 ～ 平成28年2月9日	7	
	不明		YV2RM20D8EA765197 ～ YV2RM20D3GA792083 平成26年7月10日 ～ 平成28年6月27日	322	
	(計5型式)	(1車種)	(輸入期間の全体の範囲) 平成26年2月14日 ～ 平成28年6月27日	(計667台)	

【注意事項】上記対象車の車台番号及び輸入期間の範囲以降で、対策品が採用される平成29年3月中旬以前に販売/登録される車両も対象となるため、追加対象範囲が確定した時点で改めて追加届出を行うものとする。

車名	型式	通称名	改善対策対象車の車台番号の範囲及び輸入期間	改善対策対象車の台数	備考
ボルボ	QKG-H2TDA1	「FH」	YV2RM00A1GA792335 ～ YV2RM00A9HA802398 平成28年7月11日 ～ 平成29年3月14日	56	
	QKG-H2TEA1		YV2RM00A6GA792198 ～ YV2RM00A4HA802258 平成28年7月11日 ～ 平成29年3月1日	67	
	-H2TEA1-		YV2RM20A6GA794724 ～ YV2RM00A1HA801522 平成28年9月15日 ～ 平成29年2月9日	2	
	不明		YV2RM00CXGA791251 ～ YV2RM20D5HA802291 平成28年7月11日 ～ 平成29年3月1日	70	
	(計4型式)	(1車種)	(輸入期間の全体の範囲) 平成28年7月11日 ～ 平成29年3月14日	(計195台)	

【特記事項】本届出は、平成28年6月30日付け「届出番号 500」にて改善対策届出を行ったものであるが、届出以降、対策品が採用されるまでに輸入された追加対象範囲が確定したため、対象車両を追加するものである。